

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立新湊小学校
校長 大矢根克典

中学校区におけるめざす子ども像 主体的に学び、夢に向かって、努力し続ける子

令和8年度 学校教育目標「心身ともに健康で、仲間とともに、自ら学びを深める児童の育成」

重点目標 ①知-自ら学びを深める-すすんで学習し、積極的に活動する子
 ②徳-仲間とともに-仲間とつながり、ささえあえる子
 ③体-心身ともに健康で-明るく元気で、たくましい子

「確かな学び」の現状
 知識及び技能については、各学年前年度より（特に算数の図形の領域において）一定の向上が見られた。依然として課題である思考力・判断力・表現力等については、引き続き自力解決と集団解決の時間を確保した問題解決型の学習を推し進める必要がある。

「豊かな心・健やかな体」の現状
 「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答は増加しているが、否定的回答の存在や課題である事象が生起していることを真摯に受け止め、さらに一人ひとりの居場所づくりの取組を推進する必要がある。また、運動能力については、依然として跳躍力等が課題である。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)		
								自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	基礎基本の定着	基礎的・基本的な知識技能の定着を図る。	トレーニングタイムを活用して、基礎学力の向上を図る。	算数の2学期末評価テスト「知識・技能」において80点以上。 国語は日々のトレーニングタイムの中で、成長を見ていく。	評価テスト 実践報告	3学期				
	授業改善	すべての教科で、自分の考えをもてる子どもを育成する。	ICTの活用を推進する。効果的な活用をめざす。 各学年で定めた研修の軸に従い、全学年で研究授業、協議を行い、授業研究を充実させることにより、授業力向上を図る。 ●★年間を通して計画的、意図的に自分の考えをもち、それを表現できる場面を設定した授業を行う。	3年生以上において、授業で週3回以上GIGAスクールパソコンを使用する。 各学年の軸は達成されたかで、肯定的回答80%以上。 研究協議の成果や課題を共有しながら、全学年年間通して日々の授業改善に活かしていく。 「授業で自分の考えをもつことができた」「ノートに自分の考えよく書いている」で、肯定的回答80%以上。 目標とする授業を確実に実践する。	学校アンケート (児童) 質問紙(児童) 実践報告 質問紙 実践報告	2学期末 毎学期 年度末				
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	生き生きと活動することを通して、自分や自分のまわりをよりよいものに変えていくこととする子どもを育成する。	●きょうだい学年交流会や全校参加の児童会主催イベントなどの児童活動を充実させ、子どもの自分は学校・学級の一員であるという意識を高める。	学校アンケート(児童)の「学校へ行くのが楽しい」が肯定的回答85%以上。	学校アンケート(児童)	2学期末				
			日ごろから、子どもの悩みや困り感に対し、迅速な情報共有と適切な対応を心掛け、毎学期のいじめアンケートを活用しながら、いじめ等の未然防止・早期発見・早期対応を行う。	学校アンケート(児童)の「人が困っているときは、進んで助けていますか」が肯定的回答85%以上。	学校アンケート(児童)	2学期末				
			「一人ひとりの違いを認め合うことができるクラス」づくりのために、各学年・学級の実態に合わせた取り組みを計画し、1年間を通して取り組みを進める。	年度末に、取り組みの成果や課題を報告し合い、子どもやクラスの変容から目標が達成されたか検証する。	実践報告	年度末				
健やかな体の育成	運動に親しむ環境を整え、体力を向上させる。	課題のあった跳躍力等の向上を図る体づくり運動を、体育の準備運動の際に取り入れる。	年間を通して課題の解決に向けた運動を取り入れることに取り組む。	全国体力・運動能力運動習慣調査	年度末					
		★基本的な生活習慣(特に、早寝早起きの習慣、朝ごはんを毎日食べる)を確立させる。	生活習慣チャレンジ等の結果を活用し、児童自身で生活を振り返り、改善に取り組む。	実践報告	毎学期					
地域連携	信頼される学校づくりを進める。	本校の教育活動をHPや学校・学年便り等で積極的に発信し、保護者や地域の理解、協力を得る。	学校HPを課業日には毎日更新し、学校・学年便りを月1回以上発行する。	実践報告	年度末					
		地域探検等の地域学習に取り組み、地域を愛し、誇れる子どもを育成する。	「生活」「総合的な学習の時間」等の学習で、地域のよさを知る活動を実施する。	実践報告	年度末					

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)